

令和元年第 2 回理事会議事録

令和元年 6 月 4 日

公益社団法人 岡山県獣医師会

(公社) 岡山県獣医師会令和元年度第2回理事会議事録

1. 日時及び場所 令和元年6月4日(火)15:46~16:14

岡山県農業共済会館 6階研修室 岡山市北区桑田町1番30号

2. 出席者

理事 上原淳宏 甲斐みちの 瀧本良幸 中村金一 春名章宏 三宅龍二 永山博通
西 克彦 大内紀章 加藤信介 柴田範彦 日下知加久 西崎完治

監事 西野 昇 山田義和

その他出席 澤田真由美

3. 開会及び挨拶

加藤理事が第2回理事会の開会を告げ、本会の定款第24条の規程により直前の第68回定時総会において理事及び監事の選任が決議され、理事会運営規則第6条の2において、理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たるとされている旨説明した。

出席理事で協議した結果、前会長の春名理事が議長に選任され、「会長理事、副会長理事、常務理事の互選について」協議することとなった。

4. 議 事

【決議事項】

(1) 会長理事、副会長理事、常務理事の互選について

春名議長が、会長（代表理事）の立候補者を会場に確認したが無かったが、中村理事から春名章宏氏を会長にとの意見があり、出席者全員が拍手で賛成の意を示した。

会長理事就任について、春名氏から、正業多忙な中での会長職、これから2年間、皆さんの協力を賜りながらつとめてゆきたいとのご挨拶があった。

議長が、副会長・常務理事について会場に諮ったが特に立候補・推薦がなく、会長が副会長として柴田範彦氏、常務に加藤信介氏を指名し、会場から異議無く了解された。

なお、被選任者は就任を承諾する旨を述べた。

以降、議長は、理事会運営規則第6条の1により会長理事がこれにあたとされていることから、春名会長が議長となり議事が行われた。

春名議長（以下議長）が、「(2) 役員報酬について」「(3) 役員退任慰労金について」の関連する2議題について事務局に説明を求めた。

加藤信介常務（以下常務）が、役員報酬については、資料として添付している獣医師会役員報酬規程第5条により、総会において議決された総額の範囲内において、別表（役員の報酬月額）の各号報酬月額を上限として理事会で決定するとなっていると説明し、月額25万円とすると説明。

また、役員退任慰労金については、役員退任慰労金支給基準に基づき、このたび役員を退任する8名のうち、公務員（安井正弘氏）を除く7名に支給し、令和元年度引当資産を予算どおり執行すると説明した。

議長が、異議の有無を確認し、特に無く一括承認された。

議長が、会長として役員報酬については、今年度は資料に示したような規定で行っているが、他団体等とも比較し、時代にそぐわない低い金額となっているので、来年度予算に計上するため、次回の理事会に協議事項として改正案を提出させていただきたいとして了承された。

議長が、「(4) 新規入会者の諾否決定について」事務局の説明を求めた。

常務が、資料に記載した6支部8名の入会申し込みがあり、詳細は資料によると説明。

議長が、8名の入会について諮ったところ異議無く入会が承認された。

議長が、以上で決議事項を終了し、その他「(1) 今後の行事予定」について説明を求め、常務が説明した。

議長から、岡山県獣医師連盟中村委員長の意見を求めたところ、中村委員長から委員長としてではなく獣医師会財務体質改善委員会委員を担当した理事として、獣医師会の財務状況が厳しくなるので、会費等について今後検討すべきとの意見が出され、理事に協力を求めた。

その他として、三宅理事から消費税アップに伴う狂犬病予防注射手数料の値上げを協議すべきではとの意見に対し、議長（会長として）から広島県など回りの県の対応状況を注視しつつ必要な場合は検討することとしたいとした。

また、議長から第68回定時総会で岡山県初の女性理事誕生と甲斐理事が紹介された。

議長が、他に意見が無いので提出した議題が全て終了したことを告げ、最後に柴田副会長から閉会の辞として「岡山県獣医師会の昨年の西日本豪雨災害での取組やホームページを改定し情報発信してゆこうとしていること、また社会的にも動物愛護・管理法の改正や愛がん動物看護師法の制定など獣医師を取りまく環境も変わってきていることなど、獣医師に対する追い風が吹いており、これを受けて令和の時代に岡山県獣医師会がさらに発展するよう祈念する」との挨拶があり、16時14分閉会した。

上記議事の経過及び議決事項を記録するため本議事録を作成し、会長理事及び出席監事が署名捺印する。

平成元年6月4日

会長理事 春 名 章 宏



監 事 西 野 晃



監 事 山 田 義 和

